

# (一社) 米沢観光コンベンション協会「おしょうしなガイドの会」

## 平成 30 年度活動紹介

主なガイド場所

上杉神社周辺

### ◆平成 30 年度の活動

#### (1) 10月3日(水) 会津若松ガイド研修 (参加者 21 名)

研修場所：福島県会津若松市 鶴ヶ城、福島県立博物館、白虎隊伝承史学館

戊辰戦争 150 年という記念の年であり、街道や文化、歴史的な繋がりのある会津若松市にて、ガイドの知識の向上によるレベルアップと、会津・米沢のガイド同士の交流も図り、今後の活動の幅を広げることを目的に研修を実施した。

案内を会津若松市ボランティア観光ガイドの板橋さんをお願いし、飯盛山、福島県立博物館、鶴ヶ城等を見学した。戊辰戦争と会津・米沢の関わり、歴史のつながりについて詳しく知ることができ、改めて会津・米沢の歴史的なつながりの深さを再認識した。また、国内観光客やインバウンドのお客様に向けて、会津から米沢にかけて「サムライ」をテーマとした観光ルートの整備の重要性を感じた。

#### (2) 10月6日(土) 松が岬公園内樹木研修 (参加者 21 名)

研修場所：上杉神社・松岬神社

松が岬公園(上杉神社)周辺の樹木の知識を深め、ガイド中のお客様からの質問に答えられるように研鑽を図るために樹木研修を実施した。米沢生物愛好会顧問の石栗正人氏を講師に迎え、松が岬公園周辺の樹木の説明をしていただいた。前半は現地研修として見て回り、後半は室内での座学研修を行った。

#### (3) その他の研修

11月1日(木) おきたま地域観光ボランティアガイド協議会 研修会 (参加者 11 名)

研修場所：鶴岡市 鶴岡公園

置賜地域の観光ボランティアガイド協議会会員相互の融和とレベルアップを図り、観光振興の一助を目的として毎年実施している。今年度は鶴岡市観光ガイド協議会からの案内により、致道博物館、致道館、鶴岡カトリック教会を見学し、西郷隆盛と庄内藩との関係、城下町鶴岡の取り組みを学んだ。

### ◆活動の成果・効果

#### 〈会津若松ガイド研修〉

- ・戊辰戦争から 150 年という節目の年に、奥羽越列藩同盟の成り立ち、米沢と会津の歴史的なつながりを知ることができた。悲劇の地となった飯盛山で青年達の魂に手を合わせ、記念の年に合わせ修復された鶴ヶ城近辺では「サムライツアー」としてインバウンド受け入れが整備されている面など大変勉強になった。
- ・会津若松のボランティアガイドの方とも交流することができ、今後も相互に研鑽し連携していきたい。

#### 〈松が岬公園内樹木研修〉

- ・米沢生物愛好会で作成されたパンフレットをもとに、石栗先生のご説明で樹木の種類や歴史について、詳しく知ることができた。特に樹齢 450 年を超えるもみの木があり、伊達、蒲生、上杉と歴代の城主に育てられ、今では上杉神社のシンボルツリーとして存在していることに感心し、お客様に伝えられ

る重要なトピックスとして知ることができた。

#### 〈おきたま地域観光ボランティアガイド協議会 研修会〉

- ・毎年実施している協議会の研修会だが、目的地に向かう道中では各会の活動状況を知ることができ、昼食会場では鶴岡市のガイドの活動紹介等もお話しいただき、置賜のガイドと交流できた。
- ・現地の鶴岡では、庄内藩主の酒井家を中心にしっかりと城下町の歴史、伝統、景観を守り、現代に受け継がれてきたことに大変感心した。また、戊辰戦争 150 年ということで西郷隆盛と庄内藩の交流、歴史的なつながりを知ることができた。

#### ◆課題

##### 〈ガイド研修 会津若松方面〉

- ・19名のガイドが参加した。より多くのガイドに参加してもらいたいが、バスの定員の関係もあるので人数制限せざるを得ない。米沢市職員が同乗することを条件に、米沢市の福祉バスを活用している。
- ・ぜひ同じように、会津若松のガイドに研修に来てもらえるようにレベルアップを図り、観光地整備もお願いしていきたい。

##### 〈松が岬公園内樹木研修〉

- ・19名のガイドが参加した。地元での研修として、もっと多くのガイドの参加を目指す。
- ・歴史だけではなく、季節の樹木、草木にも関心を持ち、ガイドの深みを出してレベルアップを図っていくべきである。樹木の年代や植えた時期などから、米沢城から市民公園へと変わる成り立ちを知り、歴史を伝えるようにしていきたい。
- ・樹木や草花を保護する活動、意識も高めていきたい。

#### 〈おきたま地域観光ボランティアガイド協議会 研修会〉

- ・11名のガイドが参加した。バスに定員等があり、参加人数が限られてしまうのが残念である。
- ・鶴岡の取り組みを知り、米沢としての城下町整備の重要性も感じた。
- ・これからの武士道精神やサムライ文化の精神性の部分の専門的なガイドの重要性や、インバウンド対応、まち歩きガイド対応できるような後継者育成の必要性を感じた。

#### ◆今後の方針

歴史的なガイド研修だけではなく、車いすや障がい者対応のガイド、救急（AED）研修（令和元年度実施予定）、インバウンド対応の多言語ガイド研修（語学だけではなく、コミュニケーション能力）、おもてなしマナー講習などを取り組んでいきたい。

◆観光協会の情報はコチラ👉

<http://yonezawa.info>